



## 武田社長定例記者会見概要

12月2日午後3時から、武田社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

### <編成関連>

下期これまでの視聴率は全日5位、G帯3位、P帯3位。11月8日から熱戦を繰り広げた『世界野球プレミア12』が多くの皆さんの関心を集め、高視聴率を記録した。おかげさまで、下期第8週の視聴率は2年3ヵ月ぶりにGP帯で1位になることができた。

ドラマでは、日曜劇場『下町ロケット』が、前半の“ロケット編”を終え、後半の“ガウディ計画編”に突入したが、引き続き好調な数字が出ている。また、金曜ドラマ『コウノドリ』も女性層の支持を大きく受け、最終回に向け楽しみな状況だ。この2つの番組は録画再生率も高く、皆さんに喜んでもらっていると思う。レギュラー番組でも、火曜、水曜、木曜、金曜と元気な曜日が増えており、期待ができる表案になってきた。

好調のドラマは1月からのラインナップが出揃った。香取慎吾さん主演の日曜劇場『家族ノカタチ』をはじめ、期待できるラインナップになったと思っている。

10月から始まった在京5社の見逃し配信サービス「TVer」は非常に好調なスタートを切ることができた。サービス開始から3週間で100万ダウンロードを達成し、さらに順調にユーザーを増やしている。引き続き5社で協力し、一人でも多くのユーザーに利用していただけるよう、より使いやすいサービスにしていきたい。

### <営業関連>

10月のタイムセールスはネットタイムで昨年のアジア大会の反動が大きく、ローカル、タイムともに前年実績を下回った。年末年始は例年より早くセールスが始まって順調に推移し、前年を超える見込み。

スポットセールスは10月の東京地区投下量が97.5%と前年実績を下回ったが、11月と12月のスポット出稿が活況を呈しており、東京地区のスポット投下量は前年を上回りそう。

昨年のアジア大会編成でスポットセールス枠が減少したこともあり、10月は対前年比で売上、シェアともに前年実績を上回った。第3四半期トータルでも前年実績を上回る見込み。

## <事業関連>

赤坂で冬の風物詩となったサカスのスケートリンク「マイナビ Ice Garden」は11月28日にオープンし、イルミネーションとともにクリスマスムードを盛り上げている。

赤坂 ACT シアターでは、クリスマスに向けた公演を次々と上演する。

12月4日から15日までは、市村正親さん主演で「クリスマス・キャロル」をベースにしたミュージカル「スクルージ」が2年ぶりに帰って来る。

12月18日から23日までは、Kバレエカンパニーによるクリスマスの定番「くるみ割り人形」を上演する。ぜひ赤坂にお越しいただきたい。

展覧会は、来年1月14日から「フェルメールとレンブラント:17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展」を森アートセンターギャラリーで開催する。

ニューヨーク・メトロポリタン美術館が誇る、フェルメールの「水差しを持つ女」、レンブラントの「ベローナ」は、日本来日が初めてとなる作品。他にも、17世紀のオランダ黄金時代を彩った画家たちの60点を一堂に紹介する。世紀の名作にどうぞご期待いただきたい。

## <ラジオ関連> TBSR&C 入江社長

10月期の首都圏ラジオ個人聴取率調査の結果は、週平均で1.1%(8月調査より0.1%アップ)を獲得し、14年4ヶ月、86期連続での首位となった。平日の主だったワイド番組が、それぞれ同時帯首位をキープしたことが好結果につながった。ラジオ全体のS.I.Uは、残念ながら0.1%ダウンした。

ワイドFMは、12月7日(月)午後1時に開局する。90年頃から様々な難聴対策に取り組んできたが、これでようやく難聴解消の施策が実現する。TBSラジオの諸先輩をはじめ、総務省の皆様やたくさんのお客様のこれまでのご努力に対して深く感謝したい。12月7日の開局日には、同時に開局する文化放送・ニッポン放送と合同で、開局記念特番『FMでもキキマス! ゴールデンたまむすび』を東京スカイツリーからお届けする(12:55~15:30)。最後に、特番のお知らせをひとつ。12月5日(土)に、日本全国にある全ての民放AMラジオ47局を結んで、特別番組『ラジオのちから 2015』を放送する(TBSラジオは13:00~14:55)。ラジオショッピングからスタートしたジャパネットたかたが提供する“もっとラジオが好きになる”をテーマにお届けする2時間。出演は博多大吉とジャパネットたかたの高田前社長他。

以上